

## チョウ目害虫抵抗性ダイズ MON87751 系統（飼料） に係る食品健康影響評価について

### 1. 経緯

遺伝子組換えダイズ「チョウ目害虫抵抗性ダイズ MON87751 系統」（以下「MON87751 ダイズ」という。）については、平成 28 年 4 月 12 日付けで遺伝子組換え飼料の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

### 2. 評価依頼品種の概要

MON87751 ダイズには、チョウ目害虫に対する抵抗性を付与するため、*Bacillus thuringiensis* に由来する *cry1A.105* 遺伝子及び改変 *cry2Ab2* 遺伝子が導入されている。*cry1A.105* 遺伝子及び改変 *cry2Ab2* 遺伝子によって産生される Cry1A.105 タンパク質及び改変 Cry2Ab2 タンパク質は、チョウ目害虫に対して殺虫活性を示すことにより、植物にチョウ目害虫への抵抗性を付与する。

### 3. 利用目的および利用方法

MON87751 ダイズの飼料としての利用目的や利用方法は、従来のダイズと相違がない。

### 4. 諸外国における申請等

申請国	申請・確認年月	申請先
オーストラリア・ ニュージーランド	2016 年 1 月確認終了	オーストラリア・ニュージーランド 食品基準機関（FSANZ）
カナダ	2014 年 10 月確認終了	カナダ食品検査庁（CFIA）
米国	2015 年 5 月確認終了	米国食品医薬品局（FDA）
EU	2014 年 9 月申請	欧州食品安全機関（EFSA）